

学際高等研究教育院・学際科学フロンティア研究所共催

全領域合同 研究交流会

平成30年度 前期第4回

7月10日(火)

13:00~

会場：学際研・研究教育院棟 1階セミナー室

Scan
to discover!



ポスター発表(13:00-14:30)

『国菌“麹菌”の進化を探る』

一 井上 大志 (農学研究科 / 生命・環境領域)

『カビのゲノムから物質をつくる、ポストゲノムの天然物化学』

一 塚田 健人 (薬学研究科 / 生命・環境領域)

『難治性がんに対する新規治療法の提案 (がんを揺さぶる?!)』

一 林 真貴子 (医学系研究科 / 生命・環境領域)

『行動観察から探るムカデの運動モードスイッチング』

一 安井 浩太郎 (工学研究科 / 生命・環境領域)

『“骨組み”との組み合わせで制御する樟脳船の運動』

一 諸橋 博昭 (理学研究科 / 先端基礎科学領域)

『笑顔が一番：感情表出が心の帰属に与える影響』

一 齊藤 俊樹 (医学系研究科 / 人間・社会領域)

『麹菌界面活性タンパク質 RoIA の固体表面への吸着仮定の解析』

一 寺内 裕貴 (農学研究科 / 生命・環境領域)

口頭発表(14:40-15:00)

『高温ストレス時のニワトリ骨格筋における変化』

Muscular Changes in Chickens under Heat Stress Conditions

一 古川 恭平 (農学研究科 / 生命・環境領域)

多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学問体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手を取り合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。

融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境界を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。

平成30年度 全領域合同研究交流会 運営委員会

次回予告

平成30年度後期 第1回：10月

※詳細は決まり次第ホームページにてお知らせします

http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/

お問合せ

学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室

022-795-5749 E-mail:senryaku@iiares.tohoku.ac.jp